



「土砂災害の
危険信号を見逃すな」
タイトル…
松下姫奈さんの作品



絵画で県知事賞を受賞

令和4年度に鹿児島県が実施した「土砂災害防止に関する絵画・作文コンクール」における入賞作品が、10月16日(月)から10月20日(金)にかけて、役場1階ロビーにおいて展示されました。

本町からは、絵画部門中学生の部において、大崎中学校3年生の松下^{ひな}姫奈さんの作品が県知事賞最優秀賞を受賞しました。



有事に備え安否確認訓練

10月11日(水)、陸上自衛隊国分駐屯地、大崎町自衛隊家族会、鹿児島県隊友会大崎支部が合同で、町中央公民館を拠点に、「自衛隊員家族の安否確認訓練」を実施し、52名が参加しました。

この訓練は、大規模災害が発生した際、隊員は直ちに災害派遣に備える必要があり、隊員家族の安否確認をおこなう時間的余裕がないことから、自衛隊の協力団体が隊員に代わって隊員家族の安否確認を実施するものです。



毎年恒例！三文字に今年もハロウィン 仮装の子どもたちが大集合！

10月29日(日)、大崎町商工会や三文字地区を中心に「家族でハロウィンinさんもじ」が開催され、約200名が参加しました。これは、地元商店街の活性化を図ることを目的に大崎町商工会青年部が実施しているものです。参加者は仮装をし、商店街の各店に設置されたお菓子配布場所や撮影ブースを家族や友達と楽しみながら巡りました。

また、同青年部は10月30日(月)に大崎幼稚園を訪れ、園児一人一人にお菓子の詰め合わせを配布しました。受け取った子どもたちは、大きな声でお礼のあいさつをしていました。お菓子は町内の幼稚園と保育園の全園児459名に配布されました。



今年もありがとうございます！ 奉仕活動で手づくりベンチを寄贈

10月21日(土)、(株)有馬工務店と有栄会に所属する22社から計36名が参加してベンチを10脚製作し、町に寄贈しました。有馬工務店の脇田康弘社長は「建設業という利点を活かし、皆さまに喜んでもらえるよう奉仕活動で手づくりベンチを製作し10年以上継続しております。毎年、新規ベンチの寄贈と、これまでに寄贈したベンチの塗装の塗り替えをさせていただいています。町民の皆さまや利用される皆さまに喜んでいただけると幸いです」と話されました。

ベンチは野方小学校や研修センターグラウンドなどに設置されました。